



栗本 FP スクール ガイダンス  
講師・養成コース 講座案内  
～ 「稼げる講師」になるための最短ルート ～

株式会社エフピーオアシス

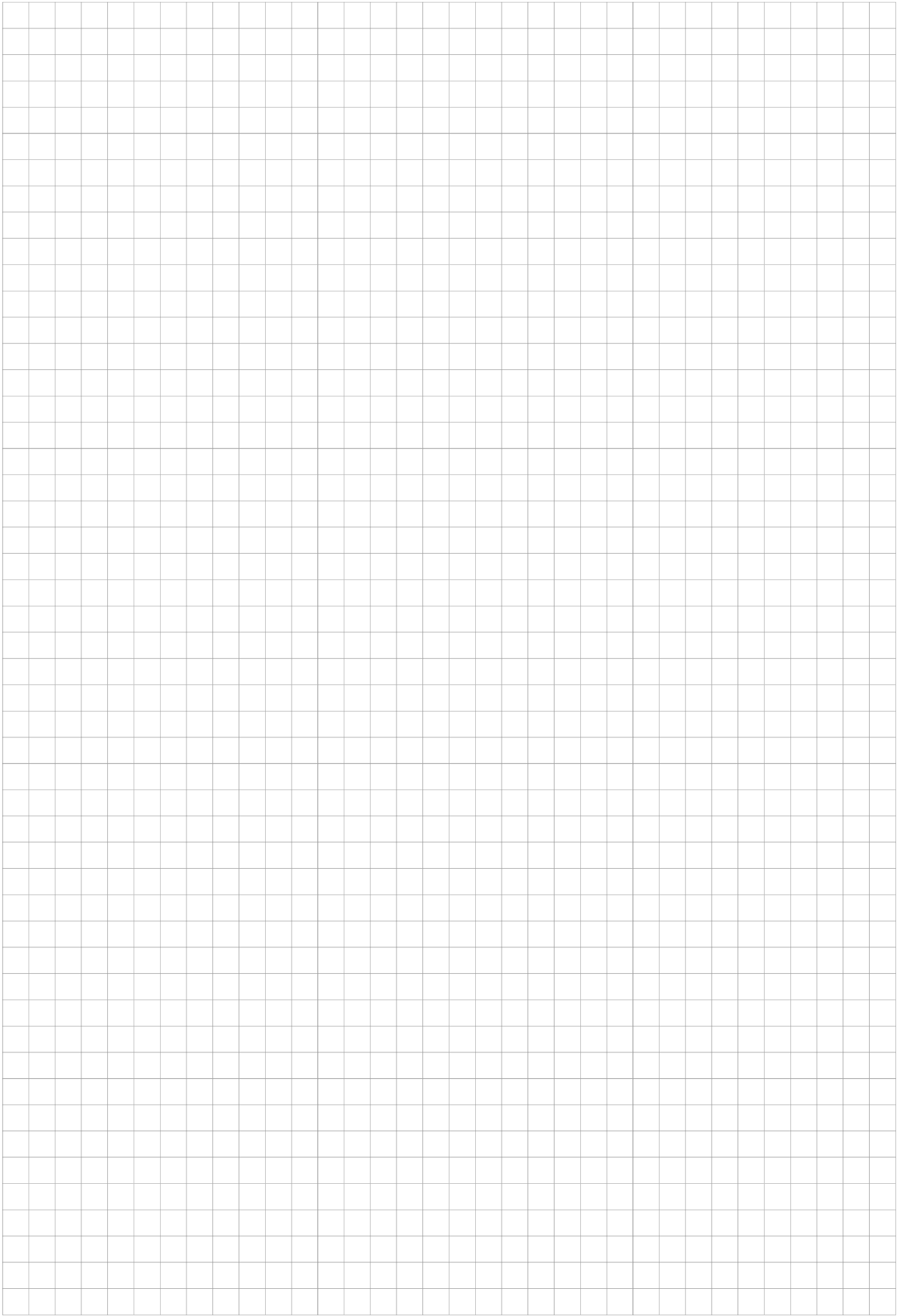
禁無断複写転用

■株式会社エフピーオアシスが提供するアドバイス、ファイナンシャル・プラン、講演等すべての情報は、講演参加者が生涯にわたる目標を設定し、これを実現するための計画を実行する際の手助けをするものです。従って、一時的な財テクや節税などを目的とするものではありません。■株式会社エフピーオアシスが提供するアドバイス、ファイナンシャル・プランおよびそれに基づく助言は、講演参加者に対して拘束力を持ちません。講演参加者は自己の責任においてアドバイス、提案内容の採否を決定します。■ファイナンシャル・プランの実行にあたり、国内外の社会情勢、金融・経済情勢の急激な変化に伴うリスクについて、株式会社エフピーオアシスは一切の責任を負わないものとします。■株式会社エフピーオアシスは金融商品(保険、投資信託等)の販売には一切関わらず、公正な情報提供に努めています。

■本誌の著作権は株式会社エフピーオアシスに帰属します。Copyright(C) 2017 FP OASiS, INC. All Rights Reserved. ■本誌の全部または一部を引用・転載する場合は事前に株式会社エフピーオアシスの書面による承認を取得する必要があります。

もくじ

1. 「稼げる講師」になるための最短ルート	4
1.1 パーソナルトレーナー（FPI-Jグループ講師）による指導	4
1.2 専用セミナールーム	5
1.3 カリキュラム	6
1.3.1 概要	6
1.3.2 <参考>新作講演の練習目安	6
1.3.3 スクールの開催日程	6
1.4 受講料	11
1.4.1 受講料に含まれるもの	11
1.5 お申込みの流れ	11
2. 就職サポートと独立サポート	13
2.1 認定講師制度	13
2.2 <認定講師限定>オーディションシステム	13
2.2.1 オーディション参加事業者のご紹介	14
2.3 <認定講師限定>テキストライセンスの提供	15
2.3.1 FP 技能士テキストライセンス	15
2.3.2 「家計の見直しセミナー」テキストライセンス	16
2.4 認定講師に対する継続フォロー	17
2.5 受講後の流れ	17
3. <参考>講演フィードバックプラン	18
3.1 こんな経験はありませんか？	18
3.2 プランの特長	18
3.3 サービスの流れ	19
3.4 プラン料金	19
3.4.1 料金に含まれるもの	19
3.4.2 フィードバックレポートの例	20



## 1. 「稼げる講師」になるための最短ルート

短期間でプロ講師としてのスキルが身につく短期集中型の濃密プログラムです。

- 大前提としての稼げる講演技術
- 稼ぎ続けるコンテンツの作り方
- 講演業で収益をあげるためのビジネスモデル

### 1.1 パーソナルトレーナー（FPI-J グループ講師）による指導

「稼げる講師」となるためには、①正しい方向に向けて、②膨大な努力をすることが最短ルートです。

そのため、FPI-J グループ<sup>1</sup>の主力講師陣が講座を担当すると同時に、受講生一人一人のパーソナルトレーナーとなり、卒業までの2ヶ月間をサポートします。

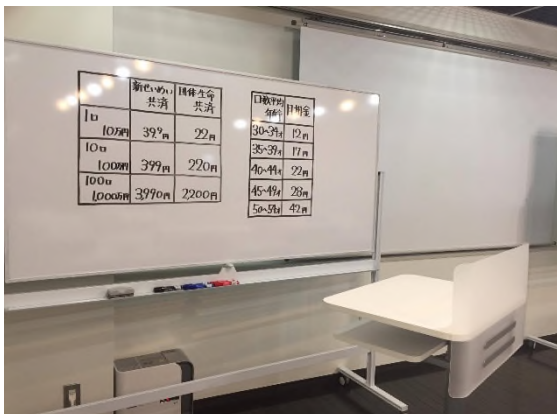


<sup>1</sup> 株式会社 FP オアシス、生活経済研究所<sup>®</sup>長野

## 1.2 専用セミナールーム

最高のパフォーマンスをあげられる「稼げる講師」になるためには、どのような会場でも自分のホームグラウンドとして最大限活用することが求められます。

松本会場<sup>2</sup>では講師陣が日常的に練習している専用セミナールーム<sup>3</sup>を活用し、受講生自身が機材の設定、会場設営を修得できるように訓練します<sup>4</sup>。



<sup>2</sup> FPI-J グループ本社（生活経済研究所®長野 事務所）

<sup>3</sup> 「家計の見直しセミナー」の収録用にも活用されている

<sup>4</sup> 講義前日は受講生のために解放し、自由に練習できる環境を提供している（松本会場）

## 1.3 カリキュラム

### 1.3.1 概要

1日6時間、全4日間の通学講座です。受講生には課題として指定される2時間の講演<sup>5</sup>を完全コピーしていただきます。現状評価、方向性のご相談、困ったことなどはパーソナルトレーナーが随時サポートしますので、受講生の皆さんも2ヶ月間は毎日十分な練習量を確保してください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
事前課題	通学1日目	自学課題	通学2日目	自学課題	通学3日目	自学課題	通学4日目	認定講師試験	オーディション
講演の冒頭5分間を完成させる	360分	講演の冒頭20分間を完成させる	360分	講演の冒頭60分間を完成させる	360分	120分間の講演を完成させる	360分		

図 1：事前学習と通学のイメージ

### 1.3.2 <参考>新作講演の練習目安

百戦錬磨のプロ講師でも、新しい演題を修得するためには相当な練習をします。具体的には初演の場合登壇するまでに、プロ講師でも準備に1日12時間×4日間の時間を取ります。

- ① プロ講師の練習時間<sup>6</sup> 1日12時間×4日間 = 48時間
- ② 新人講師の練習目安 1日6時間×60日間 = 360時間

### 1.3.3 スクールの開催日程

開催日 1月7日(日)～2月25日(日) 全4日間  
 1日目：1月7日(日)  
 2日目：1月21日(日)  
 3日目：2月4日(日)  
 4日目：2月25日(日)  
 時間 10時30分～17時30分

<sup>5</sup> 一般勤労者向けの演題より選択

<sup>6</sup> テキスト作成等の時間は別途

2018年01月07日(日)開催

栗本FPスクール「講師・養成コース」1日目  
タイムスケジュール

時間	プログラム	内容の詳細
10:15	スケジュール案内	事前案内
10:30～12:30	講義(120分)	演題:プロ講師のビジネスモデル
12:30～13:30	昼休み(60分)	昼食
13:30～14:25	午前中の講演の質疑(30分)	1. 午前の講演の感想、疑問・質問への回答
	プロフィール作成(25分)	1. 自己紹介(スタッフ含む) 2. キャッチコピー、紹介文の作成
14:25～14:30	休憩(5分)	
14:30～15:45	課題の実演 フィードバック(75分)	1. 課題の実演 (1)5分間のデモ (2)ビデオ撮影 2. フィードバック (1)フィードバック (2)他講師のビデオと見比べ (3)講師実演 3. ビデオ確認 (1)ご自身が見て感じたこと (2)課題の解消(練習)
15:45～15:55	休憩(10分)	
15:55～16:35	講演習得方法の レクチャー(40分)	1. 講演の習得(暗記)方法の提案 2. 現時点での不安や質問など 3. 今後の質問など(里親指導体制について)
16:35～16:40	休憩(5分)	
16:40～17:25	ツールの使い方(45分)	1. 板書 (1)実演(文字、表、直線、図形) 2. スクリーンまわり (1)レーザーポインタ (2)プロジェクター (3)マイク 3. 立ち、動作、服装など
17:25～17:30	次回までの課題確認	1. 次回課題:冒頭20分の完成 2. 講演のタイムスケジュールの作成(冒頭20分)

※進行状況によってはプログラム内容の入れ替えや時間が前後することがあります。

実演
質疑
講義

表 1 : カリキュラム (1 日目・冒頭 5 分間の完成)

2018年01月21日(日)開催

栗本FPスクール「講師・養成コース」2日目  
タイムスケジュール

時間	プログラム	内容の詳細
10:25	スケジュール案内	事前案内
10:30～12:30	講義(120分)	演題: 講演技法(参加者にわかりやすい話法)
12:30～13:30	昼休み(60分)	昼食
13:30～13:45	質疑(15分)	1. 午前の講演の感想、疑問・質問への回答 2. 課題・20分間実演の練習を積んでの感想、疑問・質問への回答
13:45～14:15	板書の練習(30分)	1. 表の書き方 2. 文字の書き方 3. ホワイトボードの分割利用、両面利用等
14:15～14:45	講演前セッティングの練習(30分)	1. セッティング (1)板書の事前準備 (2)プロジェクターの投影(3)レーザーポインタ
14:45～14:50	休憩(5分)	
14:50～15:35	課題の実演 フィードバック①(45分)	1. 課題の実演 (1)20分間のデモ (2)ビデオ撮影 2. フィードバック (1)フィードバック (2)他講師のビデオと見比べ (3)講師実演 3. ビデオ確認 (1)ご自身が見て感じたこと (2)課題の解消(練習)
15:35～15:45	休憩(10分)	
15:45～16:30	課題の実演 フィードバック②(45分)	1. 課題の実演 (1)20分間のデモ (2)ビデオ撮影 2. フィードバック (1)フィードバック (2)他講師のビデオと見比べ (3)講師実演 3. ビデオ確認 (1)ご自身が見て感じたこと (2)課題の解消(練習)
16:30～16:40	休憩(10分)	
16:40～17:25	課題の実演 フィードバック③(45分)	1. 課題の実演 (1)20分間のデモ (2)ビデオ撮影 2. フィードバック (1)フィードバック (2)他講師のビデオと見比べ (3)講師実演 3. ビデオ確認 (1)ご自身が見て感じたこと (2)課題の解消(練習)
17:25～17:30	次回までの課題確認	1. 次回課題: 前半60分の完成 2. 講演のタイムスケジュールの作成(前半60分)

※進行状況によってはプログラム内容の入れ替えや時間が前後することがあります。

実演
質疑
講義

表 2 : カリキュラム (2日目・冒頭 20 分間の完成)



2018年02月04日(日)開催

栗本FPスクール「講師・養成コース」3日目  
タイムスケジュール

時間	プログラム	内容の詳細
10:25	スケジュール案内	事前案内
10:30～12:30	講義(120分)	演題: 講演の組み立て方
12:30～13:20	昼休み(50分)	昼食
13:20～13:40	午前中の講演の質疑(20分)	1. 午前の講演の感想、疑問・質問への回答 2. 課題・60分間実演の練習を積んでの感想、疑問・質問への回答
13:40～14:00	講演前セッティングの練習(20分)	1. セッティング (1)板書の事前準備 (2)プロジェクターの投影(3)レーザーポインタ
14:00～14:05	休憩(5分)	
14:05～15:15	課題の実演 フィードバック①(70分)	1. 課題の実演 (1)60分間のデモ (2)ビデオ撮影 2. フィードバック (1)フィードバック 3. ビデオ確認 (1)ご自身が見て感じたこと (2)課題の解消(練習)
15:15～15:20	休憩(5分)	
15:20～16:30	課題の実演 フィードバック②(70分)	1. 課題の実演 (1)60分間のデモ (2)ビデオ撮影 2. フィードバック (1)フィードバック 3. ビデオ確認 (1)ご自身が見て感じたこと (2)課題の解消(練習)
16:30～16:35	休憩(5分)	
16:35～17:45	課題の実演 フィードバック③(70分)	1. 課題の実演 (1)60分間のデモ (指定部分) (2)ビデオ撮影 2. フィードバック (1)フィードバック 3. ビデオ確認 (1)ご自身が見て感じたこと (2)課題の解消(練習)
17:45～17:55	次回までの課題確認	1. 次回課題: 全体の完成 2. 講演のタイムスケジュールの作成(全編120分)

※進行状況によってはプログラム内容の入れ替えや時間が前後することがあります。

実演
質疑
講義

表 3: カリキュラム (3日目・冒頭 60 分間の完成)

2018年02月25日(日)開催

栗本FPスクール「講師・養成コース」4日目  
タイムスケジュール

時間	プログラム	内容の詳細
10:25	スケジュール案内	
10:30～10:50	講演前セッティング(20分)	1. セッティング (1)板書の事前準備 (2)プロジェクターの投影(3)レーザーポインタ
10:50～11:50	課題の実演①(60分) ( A 様 )	1. 課題の実演 (1)120分のデモ(うち60分) (2)ビデオ撮影
11:50～12:00	休憩(10分)	
12:00～13:00	課題の実演②(60分) ( B 様 )	1. 課題の実演 (1)120分のデモ(うち60分) (2)ビデオ撮影
13:00～13:50	昼休み(50分)	昼食
13:50～14:10	講演前セッティング(20分)	1. セッティング (1)板書の事前準備 (2)プロジェクターの投影(3)レーザーポインタ
14:10～15:10	課題の実演③(60分) ( C 様 )	1. 課題の実演 (1)120分のデモ(うち60分) (2)ビデオ撮影
15:10～15:20	休憩(10分)	
15:20～15:45	フィードバック①(25分) ( A 様 )	1. 実演①に対するフィードバック 2. ビデオ確認 (1)ご自身が見て感じたこと (2)課題の解消
15:45～16:10	フィードバック②(25分) ( B 様 )	1. 実演②に対するフィードバック 2. ビデオ確認 (1)ご自身が見て感じたこと (2)課題の解消
16:10～16:35	フィードバック③(25分) ( C 様 )	1. 実演③に対するフィードバック 2. ビデオ確認 (1)ご自身が見て感じたこと (2)課題の解消
16:35～16:45	休憩(10分)	
16:45～17:45	課題の実演 フィードバック④(60分)	1. 課題の実演 (1)1人10分間のデモ(指定部分) (2)ビデオ撮影 2. フィードバック (1)フィードバック
17:45～18:00	講座修了にあたって	1. 修了テスト、オーディションのご案内

※進行状況によってはプログラム内容の入れ替えや時間が前後することがあります。

実演
質疑
講義

表 4 : カリキュラム (4 日目・冒頭 120 分間の完成)

## 1.4 受講料

通常価格 702,000 円 (税込)  
※企業/団体/労働組合によるお申し込み可

- ① ガイダンス終了後、年内にお申し込みの場合  
特別価格 594,000 円 (税込)
- ② 「家計の見直しセミナー」年間パスポート会員  
特別価格 567,000 円 (税込)
- ③ 講演フィードバックプラン (税込 324,000 円) 付!

### 1.4.1 受講料に含まれるもの

- ① 全 4 日 (24 時間) の受講料
- ② 自学課題の評価と講演フィードバック
- ③ 講演を録画するためのビデオカメラと三脚
- ④ 講義用ポインター
- ⑤ 講演受諾票 (ひな形)
- ⑥ オーディションエントリー料
- ⑦ 講演フィードバックプラン (18 ページ)

## 1.5 お申し込みの流れ

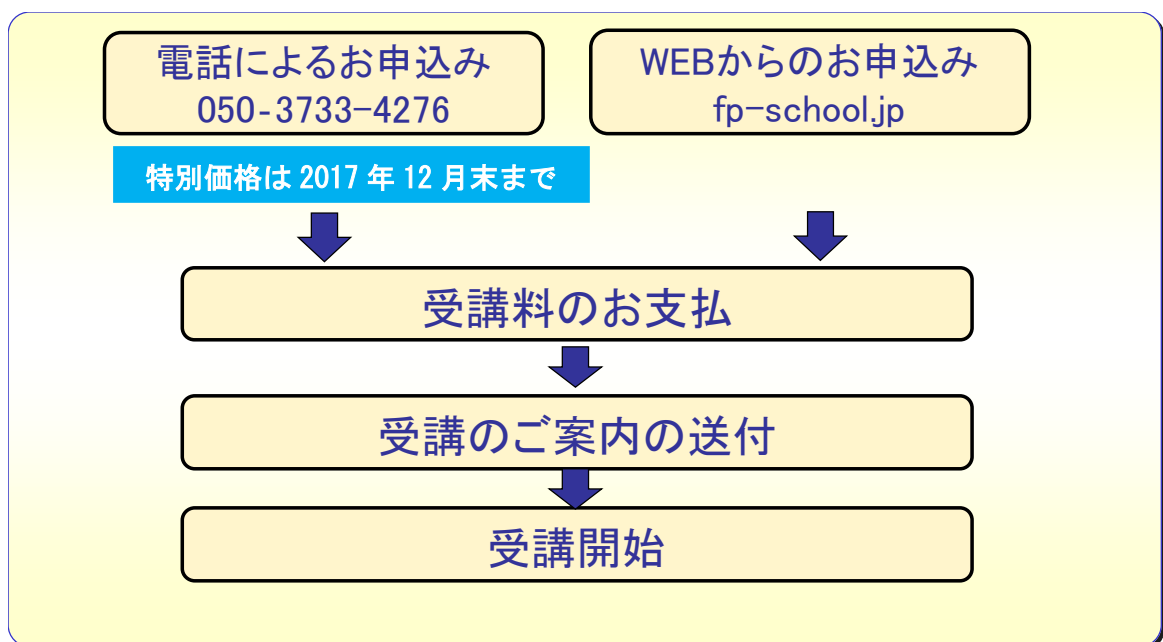


図 2 : お申し込みの流れ

## 参加者のアンケートご紹介

### Q. カリキュラム全体を通じてよかった点・悪かった点をお聞かせください

- ・ その時その時の私の理解度や、くせ、どこにつまずいているのかを常に見つけてくれるのでとてもスムーズだった。たくさんの経験を持っている講師の方々のノウハウをおしみなく教えてもらえる講座だと思った。(講師未経験者)
- ・ 最も良かったことは、自分では気にならなかったことで改善したほうが良い点を知れたこと。確信が持てず、試行錯誤していた点について自分の中で答えが明確になったこと。(講師経験者)
- ・ 他の受講生の方の実演から自分のできない点が学べたこと。(講師未経験者)

### Q. 全カリキュラムを通じて得たご自身の気づき、これから意識したい点、それらの実行にあたり、課題や不安に思っている点をお聞かせください

- ・ 聞いている方がしっかり理解しながらついてこられるように、そして、後日、実際にその情報を使うときにポイントが印象に残っている様に講演する為に、緩急がつけられるように頑張りたい。機械に対する苦手意識があって講演前準備に不安が山盛で、会場に合わせたプロジェクターの大きさのバランス、マイク調整、ビデオの位置等が難しく苦戦した。先生方が普段の現場でどういう風な順序、タイミングで、会場づくりをしているのかを実際準備の段階から見られたら嬉しい。(講師未経験者)
- ・ 講師活動をしてきた中で、準備段階においても本番においても、改善できることが明確に分かったので、1つ1つの講演内容を深掘りし、伝え方にも工夫していこうと思う。準備時間の確保、準備段階における第3者からの客観的評価を得たいが、それができるかどうかは課題。(講師経験者)

### Q. 他のスクールにはない栗本 FP スクールの特徴があればお聞かせください

- ・ 「講演の組み立て方」等の講義と、実演に対するフィードバックの両方があるのは嬉しかった。そのおかげで1つ1つの言葉を大事にする姿勢、発声、聞き手を引き込み印象付ける技術がきちんと繋がり、経験のない私もすんなりと実践できた。(講師未経験者)
- ・ 随分前、一度だけ講師養成講座を受けたことがある。料金が今回の8分の1ぐらいだったので安易に比較はできないが、受講生1名に対して講師が2名いたこと、最終日には講師全員からフィードバックが得られることは特徴的だと思う。(講師経験者)

### Q. これから受講を検討されている方に対するメッセージをお願いします

- ・ いろいろな角度からアドバイスがもらえるので、自分では気付けないような発見がきっとある。(講師未経験者)
- ・ 社内研修などのように、1人も残さず目的地まで連れて行かなければいけない講演の講師として生計を立てていきたい方には、得られるものはとても大きい。講師としてではなく、企画・運営する立場の方にもたいへん役立つ講座。(講師経験者)

## 2. 就職サポートと独立サポート

### 2.1 認定講師制度

講師・養成コースを修了し、認定講師試験に合格すると「FPI-J 認定講師」として登録されます<sup>7</sup>。

### 2.2 <認定講師限定>オーディションシステム

スキルを修得した講座修了生が、そのスキルを実際に活かせる可能性のある FP 事業者に対するオーディション機会を提供します。

認定講師、FP 事業者双方のニーズがマッチすれば、その事業者との業務委託契約や、インターンシップ、正規職員として働く機会を得られます。

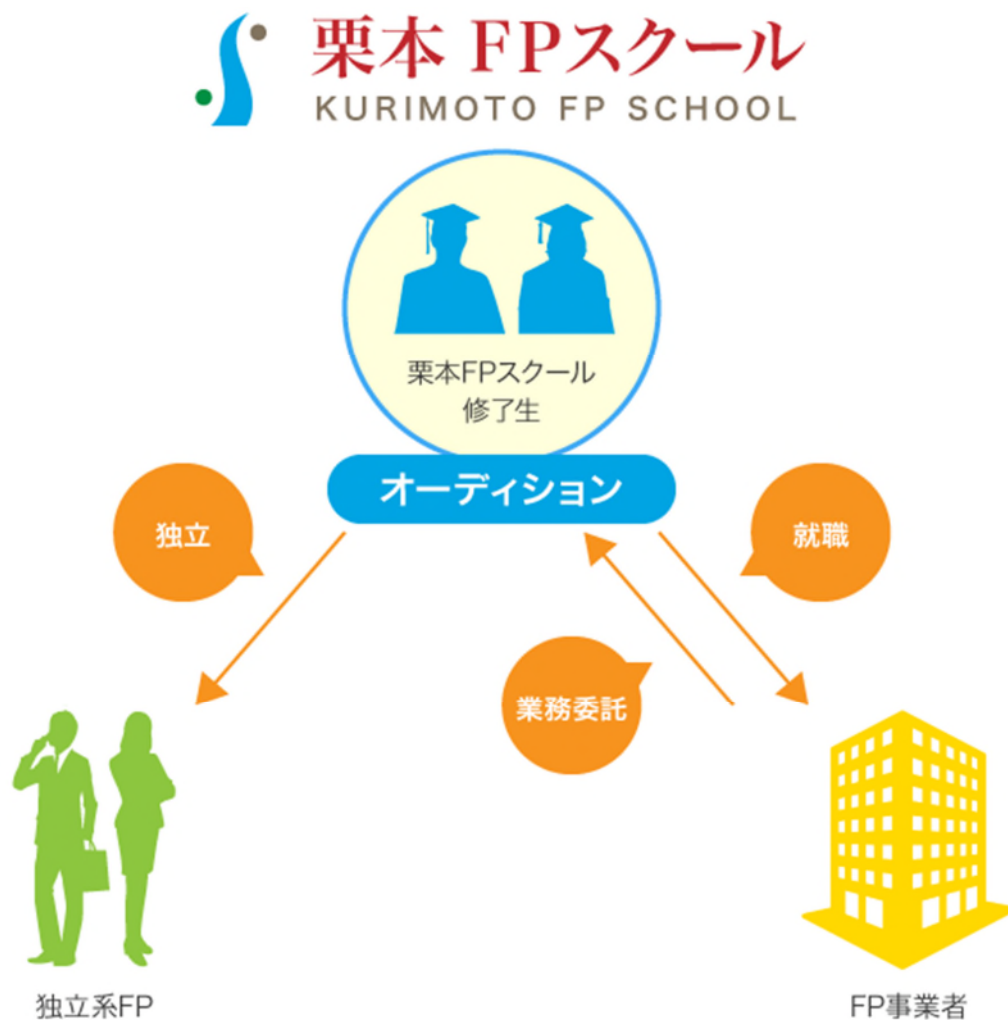


図 3 : 栗本 FP スクールのオーディションシステム

<sup>7</sup> 登録料は無料、年会費はかかりません

## 2.2.1 オーディション参加事業者のご紹介

オーディションへの参加表明をいただいている FP 事業者<sup>8</sup>は次のとおりです。FP 講師として登録してくれる人を探している事業者が審査員となり、事業の中で講師をお願いしたいと感じられたら、FP 講師としてデビューする機会が与えられます。

事業者名	代表者(敬称略)	ホームページ
生活デザイン株式会社 (家計の見直し相談センター)	藤川 太	<a href="https://www.370415.com/index.html">https://www.370415.com/index.html</a>
ライフアセットコンサルティング株式会社	菱田 雅生	<a href="http://www.la-consul.com/">http://www.la-consul.com/</a>
相続手続支援センターなにわ	長井 俊行	<a href="http://souzoku-naniwa.com/">http://souzoku-naniwa.com/</a>
株式会社ライフフォースサポート	安岡 敏朗	<a href="https://www.life-force-support.co.jp/">https://www.life-force-support.co.jp/</a>
株式会社RKコンサルティング	西藤 広一郎	<a href="http://www.rkinc.co.jp/">http://www.rkinc.co.jp/</a>
エフ・ピー・アイ・ジェイ株式会社 (生活経済研究所長野)	塚原 哲	<a href="http://www.fpi-j.com/">http://www.fpi-j.com/</a>
株式会社エフピーオアシス	栗本 大介	<a href="http://fp-school.jp/">http://fp-school.jp/</a>

表 5 : オーディション参加事業者例

<sup>8</sup> 了承を得た事業所のみを開示 (2017 年 11 月現在)

## 2.3 <認定講師限定>テキストライセンスの提供

FPI-J 認定講師がプロとして活躍し続けるための援護として、テキストライセンスを提供する有償サービスです。

### 2.3.1 FP 技能士テキストライセンス

FP オアシスが培ってきた 2 級技能士講座、3 級技能士講座テキスト（非売品）の年間ライセンスです。自主開催のセミナーに限り利用できます。

#### 2.3.1.1 ポイント

- ① 10,000 名の受講生が学んだノウハウが手に入る  
講座テキストを一から作るのは膨大な労力がかかりますが、栗本 FP スクールの受講生が学んだ伝説のノウハウが詰まったテキストをすぐに利用できます。
- ② 表紙をご自身の好きなデザインに変更できる  
個人名、法人名<sup>9</sup>で FP 資格講座を開講できるようになります。
- ③ テキストを自由に加筆・修正できる  
ご自身の教えやすい形式に加筆・修正できます。オリジナルの図表等を網羅し、高い合格率を誇る講座を目指してください。

#### 2.3.1.2 ライセンス料

年間 54,000 円（税込） + 参加者受講料の 20%

---

<sup>9</sup> 法人の場合、登壇する講師が認定講師であることが使用要件

## 2.3.2 「家計の見直しセミナー」テキストライセンス

生活経済研究所<sup>®</sup>長野が培ってきた「家計の見直しセミナー」から任意の演題をセレクトできるライセンスです。

### 2.3.2.1 ポイント

- ① 全国の主要労働組合で 18 年間提供してきたコンテンツ  
一般勤労者向けにフォーカスした講演です。業界屈指の情報網羅性と深さを誇るコンテンツをご自身の事業でご活用ください。
- ② 約 20 タイトルから任意に選べる  
個人の FP が揃えられる数は限りがありますが、ライセンスは約 20 タイトルからセレクトできます。トレンドやクライアントのニーズにあわせてご活用ください。
- ③ 講演映像はいつでも WEB から視聴できる  
ライセンス期間中は「家計の見直しセミナー」の講演映像がご覧になれます。「生活経済研究所<sup>®</sup>長野」の主要講師陣の話法、板書、プレゼンテーションを研究すれば、最高のコンディションで登壇できます。
- ④ パワーポイントも付属  
一からパワーポイントを作る必要はありません。ライセンスにはパワーポイントの利用料も含まれています。
- ⑤ 自主開催＋依頼開催の両方で利用できる  
講演主催者から依頼を受ける講演でも利用できます。ご自身のコンテンツのラインナップの拡充にも役立ちます。

### 2.3.2.2 ライセンス料

約 20 タイトル<sup>10</sup>の中から 2 タイトルをお選びいただけます。

年間 54,000 円（2 タイトル毎、税込） ＋ 講師料・参加料の 20%

※ライセンスは 2 タイトル毎に追加購入いただけます。

<sup>10</sup> タイトルは「家計の見直しセミナー（<https://fpi-j.tv/>）」の配信コンテンツから選択（随時更新）



## 2.4 認定講師に対する継続フォロー

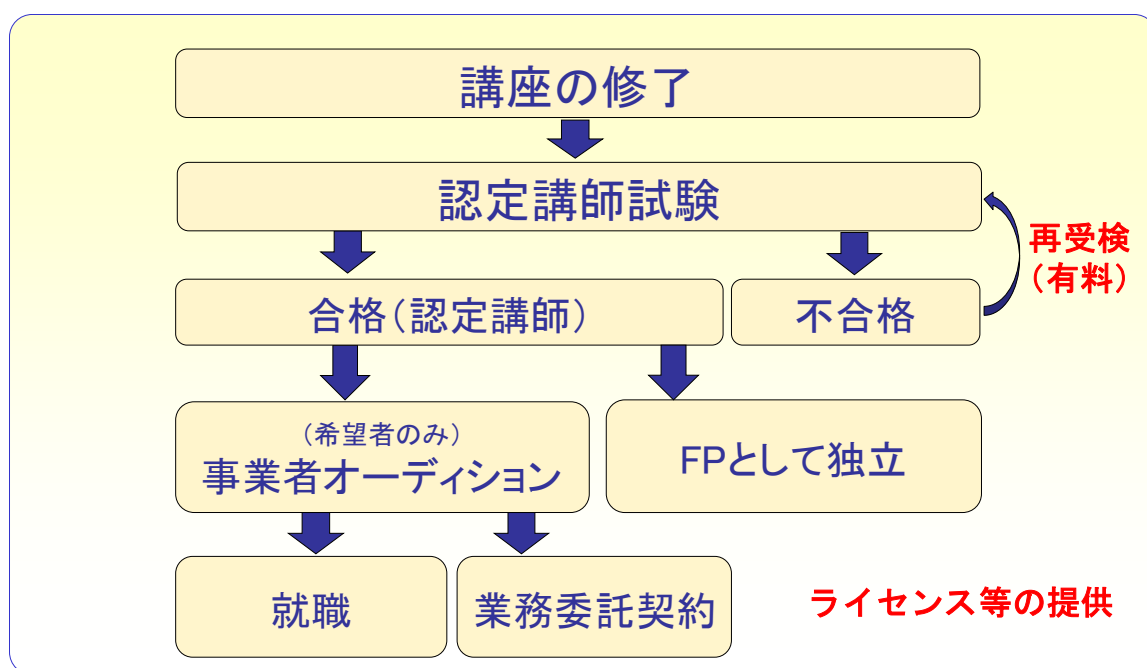
栗本 FP スクールでは、修了者を対象に次の機会を提供いたします<sup>11</sup>。

- (1) 修了生ネットワークによる定期的な交流会への参加
- (2) 他の士業や実務家 FP との連携機会の提供
- (3) 栗本 FP スクールが実施するフォローアップ講座

## 2.5 受講後の流れ

カリキュラムの最後に設定されている認定講師試験に合格すると、「FPI-J 認定講師」としてオーディションを受ける権利ならびに、テキストライセンスの購入権利が得られます。

認定講師と事業者との間で合意が形成された場合、就職や業務委託契約に進みます<sup>12</sup>。



<sup>11</sup> 各イベントの参加には、別途定める参加費用が必要

<sup>12</sup> 契約は当事者間による締結

### 3. <参考> 講演フィードバックプラン

プロ講師が、あなたの講演映像をチェックし、話し方、講演内容、資料、講義の進め方に対する適切なフィードバックをするサービスです。

#### 3.1 こんな経験はありませんか？

3 つ以上あてはまれば、残念ながらあなたは主要企業の講演リポートを逃しています。

- 作法① パワーポイントを参加者の配布テキストにしている
- 作法② 配布資料に講師の連絡先を記載している
- 作法③ 冒頭に 5～10 分間、講師紹介をしている
- 作法④ 配布資料には含まれていない投影用ページがある
- 作法⑤ 講師が参加者に質問を投げかけている
- 作法⑥ アドリブでホワイトボードを書いている
- 作法⑦ レーザーポインターを使用している
- 作法⑧ パワーポイントオンリーで、ホワイトボードは使わない
- 作法⑨ パワーポイントに目次がない
- 作法⑩ 1 つの講演に目次が 6 章以上ある

「講演フィードバックプラン」でプロ講師からの評価を受け取ってください。

#### 3.2 プランの特長

- 特長 ①** 主要企業で業界屈指の実績を持つ講師陣が直接フィードバック
- 特長 ②** 独学、我流で積み重ねたあなたの「講演の弱点」「盲点」を徹底改善
- 特長 ③** あなたのコンテンツを主要企業の評価軸で再構築
- 特長 ④** テキスト、プレゼンテーション資料の誤りも技術指導
- 特長 ⑤** 「稼げる講師」になるために、努力の最短ルートをディレクション

### 3.3 サービスの流れ

- ① お申込み (WEB、電話)  
ご自身の講演について気にしている点があればお申込み時にお知らせください。  
↓
- ② 講演映像の送付  
ご自身の講演映像を撮影し、SD カードに収録してお送りください<sup>13</sup>。  
↓
- ③ 講演のフィードバック  
講演映像に対するフィードバックレポートを作成し、お手元にお届けします。

### 3.4 プラン料金

通常価格 324,000 円 (税込)

- ▶「家計の見直しセミナー」年間パスポート会員 **特別価格 259,200 円 (税込)**
- ▶「講師・養成コース」の受講者 **なんと 1 回無料!**

#### 3.4.1 料金に含まれるもの

- ① 講演 1 回 (2 時間程度) のフィードバックレポートの作成 (A4 サイズ: 2~4 頁)
- ② お送りいただいた動画の編集<sup>14</sup>  
不要な部分のカット、キャプションの追加等を行った後、インターネット上にアップロードし、お申込み者がどこからでもご確認できるようにします
- ③ フィードバックレポートに対する質問への対応

<sup>13</sup> SD カードは後日ご返却いたします

<sup>14</sup> 撮影されたビデオのファイル形式によっては、編集ができない場合があります

### 3.4.2 フィードバックレポートの例

#### A様に対するフィードバックレポート（抜粋）

##### 講演・セミナー技法

- ① ホワイトボードの使用はよいアイデアであるが、使用する際は聞き手の視線を妨げることがないように注意する。また、口頭で説明があるとはいえ、ホワイトボード上でも「単位」を省略してはならない。重要なポイントは事前に空欄をつくり、講演中に書き込むようにする。
- ② 今回のように制限時間（約30分）が設けられている場合、リハーサル時に「どこを何分で話すか」について明確にし、メモしたうえで本番の時間配分として活用する。
- ③ 特定の聞き手へ質問をする場合は「必ず正答できるように」誘導し、回答が返ってこない場合でも回答があった体で話を進めると、聞き手に恥をかかせることなく全体を講演に引き込むことができる。
- ④ 聞き手の属性はさまざまであるが、「会社員」「団体職員」「公務員」のいずれかに該当する場合がほとんどである。これで1セットであるため、それぞれ単独で使用する際は注意する。
- ⑤ アジェンダの1章、2章、3章…等にはストーリーを持たせ、「なぜ1章のあとにこの2章がくるのか」といった背景を冒頭に伝えると講演全体の流れが明確になる。
- ⑥ ポインターや指し棒は注意が散漫となるため、使用する場合は「1回」に限定する。

##### テキスト・補足資料

- ① スライド3：講演内で特定のWEBサイトを取り上げる場合は、URLを載せるのではなく、インターネットの検索ワード入力欄を貼り付けることで訴求力が高まる。
- ② スライド19：見出しに「✓」を使用すると説明がしにくいため、「1.2.…」と数字を使用する。
- ③ 「フォントとポイントの統一」「図中や囲い内の文字のセンタリング」「スライドをいっぱい使用するのではなく余白を利用する」ことで品のある資料となる。

## B様に対するフィードバックレポート（抜粋）

### 講演・セミナー技法

- ① 講演映像を示す際は、手のひらで示すと体が聞き手を向くため講演がしやすくなる。
- ② 資料に記載されていない言葉、こそあど言葉は極力使用せず、やむを得ず使用した際はその場で補足をする。
- ③ 「時間がない」という言葉は、聞き手に時間配分ができない人という印象を与えてしまうため、「限られた時間」と言い換える。
- ④ 短縮言葉、略称は説明をする。特に、新入組合員セミナーでは必須である。
- ⑤ 掛金や共済金が小額のプランであっても、他のプラン同様に説明をする。針で穴を開けるではないが、「0」と「1」では今後の推進に大きな差が生じることになる。
- ⑥ 聞き手が気になることのひとつに「講演者の立ち位置」がある。時折前後に移動しながら講演をすると、聞き手は眼の筋肉を伸縮させるため、より注意をひくことができる。

### テキスト・補足資料

- ① スライド3：続いて「記」の記載がない場合、「下記」という言葉はふさわしくない。「次の」と言い換える。
- ② スライド14：スライド12で私的保障、企業内保障、公的保障という表現を使用したならば、スライド14でも同様の表現を使用し統一する。
- ③ スライド19：「共済 = 意見が反映される」「保険 = 意見が反映できない」という表現は非常によいが、「引受組織」の行については、社名・組織名を略称ではなくすべて正式名称で記載する。
- ④ 改行を繰り返すたび、読み手は読む気をなくしてしまう。できるだけ1行、もしくは2行にすると読みやすくなり、頭に入ってくる。

**栗本 FP スクールガイド**

■本誌の著作権は株式会社エフピーオアシスに帰属します。■本誌の全部または一部を引用・転載する場合は事前に株式会社エフピーオアシスの書面による承認を取得する必要があります。

2017年11月26日発行